

2022年度 活動報告

2023年6月23日

一般社団法人 EMOBIA (エモビア)

目 次

1. 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ
2. 2022年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
3. 2022年度 取組み体制
4. 九州 MaaSマッチング交流会取組み概要
 - ・九州 MaaSマッチング交流会オープニングイベント
 - ・第1回九州 MaaSマッチング交流会
5. 対策検討・取組み課題
 - ・EMoBIA 研究開発・取組みテーマ概要
 - ・経済産業省 九州経済産業局公募事業への提案・受託・FS事業取組
 - ・ワークショップWS
 - ・特定地区でのFS事業・シンポジウム
 - ・事業報告書提出
 - ・事業検査
6. 取組み年間計画概要 (案)
 - ・九州MaaSマッチング交流会・セミナー・勉強会等
 - ・地域ぐるみの連携（三層の連携）スケジュール (案)

Copyright 2022 EMOBIA General Incorporated
Association. All Rights Reserved

1. 2022年度 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ

－ 2021年度の調査結果より －

背景：・九州域での次世代モビリティ取組みが全国比で低い。・福岡県自治体アンケート調査・訪問交流・実態調査で自治体の深刻な交通課題・ニーズを明確にした。
 ・従来の限定的な自治体交流から広域の自治体交流拡大のニーズが強い
 ・クルマ大転換 *CASE時代の次世代モビリティ・MaaS取組みの最新情報をタイムリーにシェアし、自治体連携での支援・展開が求められている

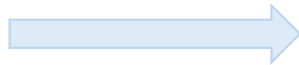
自治体の深刻な交通課題

- ①収支改善・財源不足 57%
- ②運転手不足・二種免許 36%
- ③公共交通利便性の広報活動 36%
- ④交通空白地の解消 36%

自治体のニーズと想定される解決策案

- ①自動運転 57%
- ②他地域事例の情報収集 43%
- ③他の自治体・企業との関係強化 35%

*自動運転は世界的にEV（電動車）への搭載が加速化している（EVファーストの1要因）



交通課題項目	市町村	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
収支改善・財源不足	8	○	○	○	○	○			○	○			○		
公共交通利便性の広報活動	5	○		○						○	○				○
モネの予約アプリ促進	1	○													
緊急課題無し	1		○												
既存交通の結節強化	2		○										○		
コミュニティバスの町長要望	1			○											
運転手不足・二種免許	5				○		○	○				○		○	
交通空白地の解消	5				○			○			○				○
近隣自治体と連携不足	1					○									
高齢者のスマホ操作	1							○							
交通に充てる財源不足	1								○						
タクシー会社との課題	1									○					

ニーズ		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
他地域事例の情報収集	6	○	○	○		○	○								
他の自治体・企業との関係強化	5	○		○		○				○	○				
施策の検討	1		○												
市民と交えた公共交通改善策	1									○					
交通計画策定に資する情報収集	1												○		
既存公共交通の効率的な結節	1														○
経路検索施策	2													○	○
イベント通じたほか自治体連携	3				○	○	○	グループ							
市民の外出押し出し	1	○													
自動運転に関心あり	8	○		○	○	○	○	○				○		○	
オンデマンド	2													○	○
JR/バス定期券統一	1								○						
自家用有償旅客運送	1									○					
狭路運行可能な小型モビリティ	1									○					
観光地周遊などのGSM	2									○				○	
〇割を活用した新モビリティ	1										○				
コミュニティバスの利用促進に係る情報や企業提案	1											○			
自家用車の移動データの集約分析	1												○		
航空鉄道の利活用	1													○	

*CASE：C：コミュニケーション A：自動運転 S：シェアリング E：電動化

2. 2022年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動

課題 従来取組みの限界

- ・自治体の交通課題解決には従来の取組に限界が生じている
- ・実証検証のほとんどが持続可能な社会実装に至らず、収支悪化、継続取組み困難な状況
- ・新たなテクノロジーと新たな価値を生み出すビジネスモデルでの取組みが求められている

ニーズ 情報収集・交流 への期待

- ・新たなテクノロジーでの取組みや他地域事例の情報収集・新たなビジネスモデル等の情報収集・交流、情報シェアなど、1自治体を超えた広域での効率的な取組みへの期待
- ・自治体も他自治体との連携・交流を期待
- ・各自治体とも取組みへの新たな財源確保が必要

課題・ニーズへの MaaS提案

- ・自治体、MaaS関連企業、県・官公庁各九州局、大学・研究機関連携の九州MaaSマッチング交流会を九州経済連合会、EMoBIAで提案し、自治体の参加希望・期待が明確になった

2022年度活動 自治体交流拡大・ 支援強化

- ・MaaSマッチング交流会を通じて期待されている自治体への支援を強化し、交流を拡大する
- ・特に、参加希望の強い福岡の12自治体との取組みからスタートしていく
- ・状況で福岡県内の他自治体、九州の他地域自治体への展開を検討していく

MaaSマッチング 交流会とは (詳細別紙)

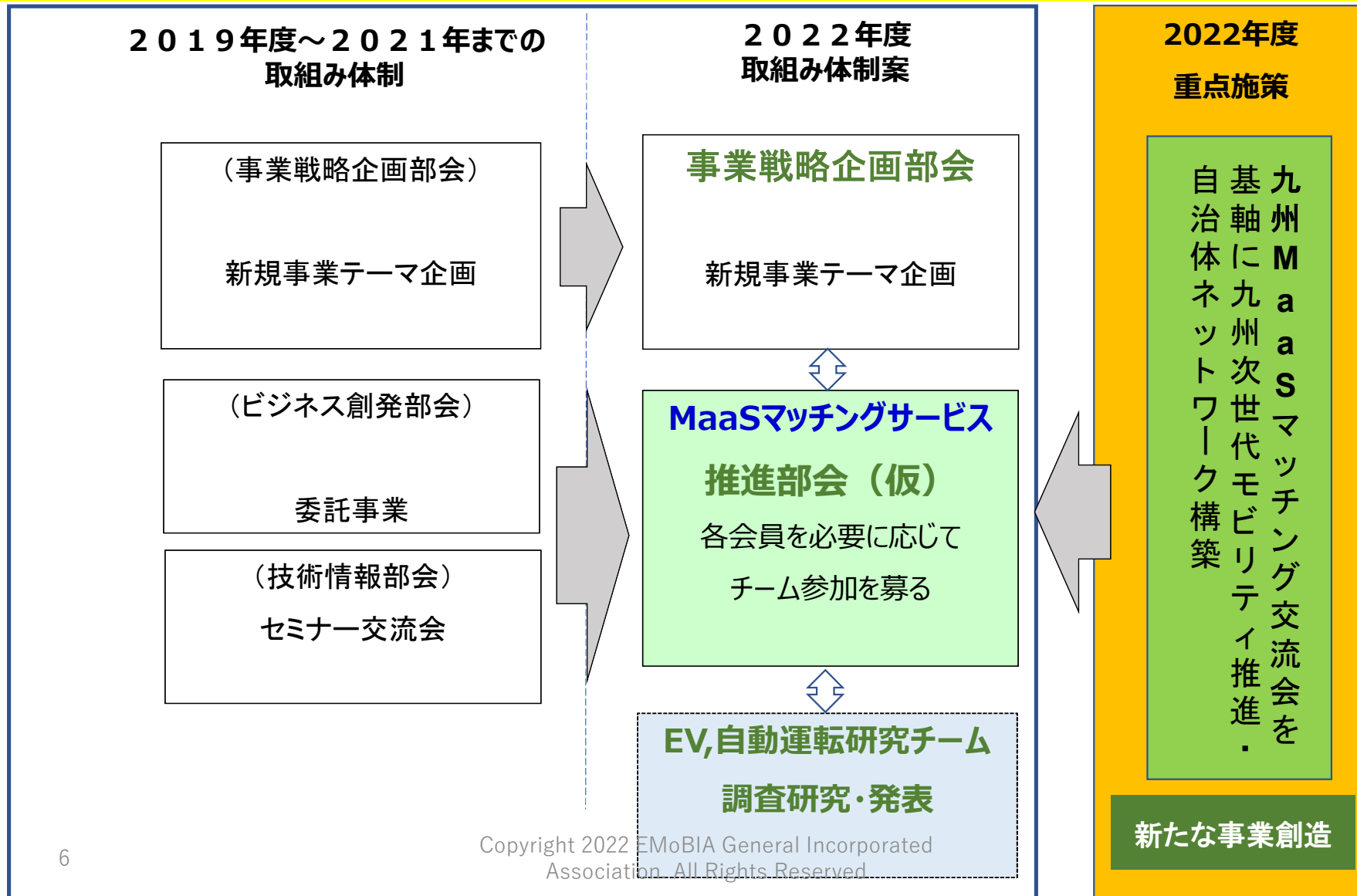
- 内容：九州域内MaaS交通課題を抱える地方自治体とMaaS関連事業者のマッチング交流会の展開
対象：九州域内の地方自治体、MaaS商品・サービス・技術を有する民間企業
- 交通計画の作成等に役立つ情報が得られます。
 - そうそうたる参加企業が一堂に揃います
 - 多くの企業、自治体、九州経済産業局・他と名刺交換・情報交流ができます
 - 九州のMaaS関連の大学と連携

目 次

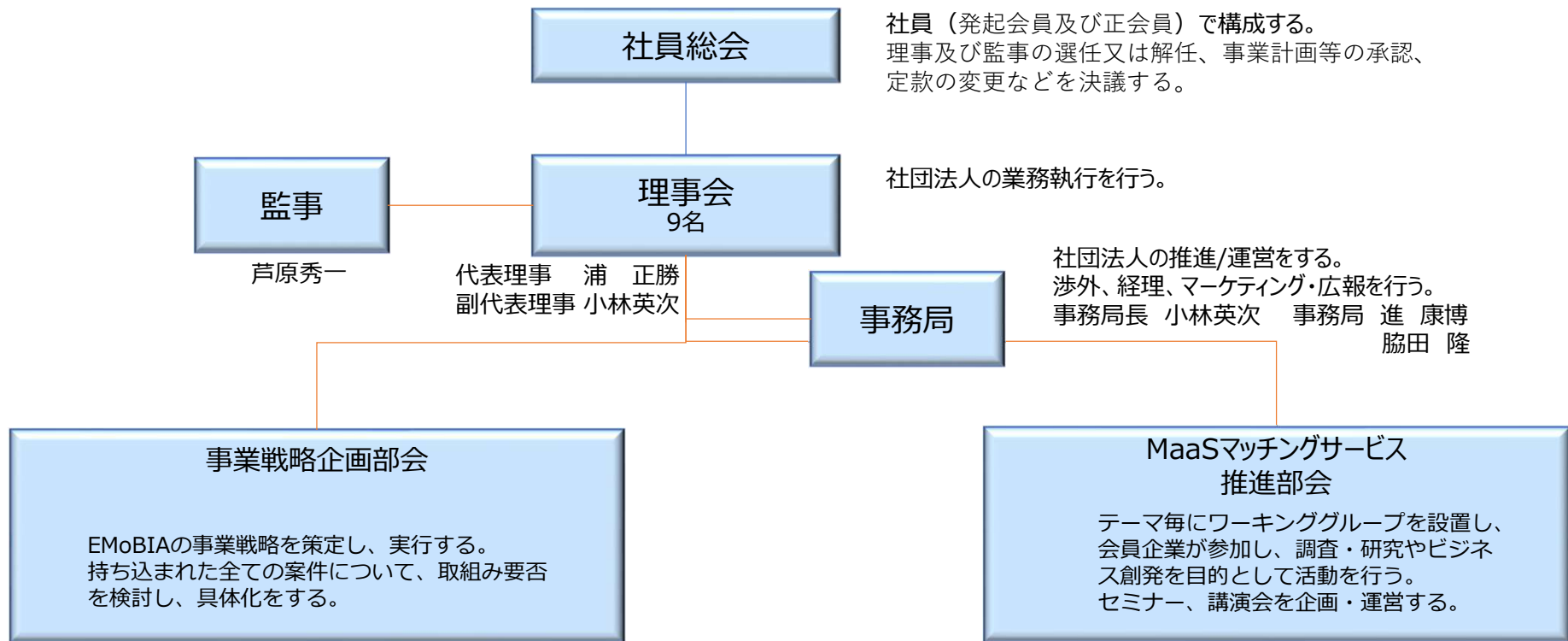
1. 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ
2. 2022年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
3. 2022年度 取組み体制
4. 九州 MaaSマッチング交流会取組み概要
 - ・九州 MaaSマッチング交流会オープニングイベント
 - ・第1回九州 MaaSマッチング交流会
5. 対策検討・取組み課題
 - ・EMoBIA 研究開発・取組みテーマ概要
 - ・経済産業省 九州経済産業局公募事業への提案・受託・FS事業取組
 - ・ワークショップWS
 - ・特定地区でのFS事業・シンポジウム
 - ・事業報告書提出
 - ・事業検査
6. 取組み年間計画概要 (案)
 - ・九州MaaSマッチング交流会・セミナー・勉強会等
 - ・地域ぐるみの連携（三層の連携）スケジュール (案)

Copyright 2022 EMoBIA General Incorporated
Association. All Rights Reserved

3. 2022年度の取組み体制



2022年度 EMoBIA 組織体制



目 次

1. 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ
2. 2022年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
3. 2022年度 取組み体制
4. 九州 MaaSマッチング交流会取組み概要
 - ・九州 MaaSマッチング交流会オープニングイベント
 - ・第1回九州 MaaSマッチング交流会
5. 対策検討・取組み課題
 - ・EMoBIA 研究開発・取組みテーマ概要
 - ・経済産業省 九州経済産業局公募事業への提案・受託・FS事業取組
 - ・ワークショップWS
 - ・特定地区でのFS事業・シンポジウム
 - ・事業報告書提出
 - ・事業検査
6. 取組み年間計画概要 (案)
 - ・九州MaaSマッチング交流会・セミナー・勉強会等
 - ・地域ぐるみの連携（三層の連携）スケジュール (案)

Copyright 2022 EMoBIA General Incorporated
Association. All Rights Reserved

4. 九州 MaaSマッチング交流会取組み概要

- ・九州 MaaSマッチング交流会オープニングイベント

当初開催2月25日延期
(コロナまん延防止)

第1回九州MaaSマッチング交流会
開催日5月23日(月)

九州MaaSマッチング交流会 オープニングイベント

Everyone's Mobility
By ITS Association

令和4年

(一社)九州経済連合会と(一社)EMoBIAは、モビリティサービスを通じた移動課題の解決や地域活性化を目指し、「九州MaaSマッチング交流会」を立ち上げるようになりました。
これに先立ってオープニングイベントを開催します。※感染拡大防止策を徹底のうえ開催します。

日時	令和4年 4月20日 水 13:00~16:30 <small>※新型コロナウイルス感染拡大状況により延期となる場合がございます。</small>	定員 先着 50 名	参加費 無料
会場	福岡システムLSI総合開発センター 2階 会議室A、B 福岡県福岡市早良区百道浜3-8-33(福岡タワー南口前) アクセス: http://www.ist.or.jp/lsi/pg03_01.html	申込方法	会社団体名・氏名・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、下記メールアドレス宛お申込みください y.shin@emobia.or.jp (一般社団法人 EMoBIA 事務局 進)
プログラム	<p>13:00~14:00:EVマイクロバス試乗会(百道浜地区) EVMotors JapanのEVバスについて 世界最高クラスの低消費電力システムによる長距離走行の実現 災害時には、大容量バッテリーを搭載した移動電源車としても活躍</p> <p>14:00~14:10:主催者挨拶 一般社団法人九州経済連合会 観光社会基盤部長 升本 喜之 一般社団法人EMoBIA 代表理事 浦 正勝</p> <p>14:10~14:30:来賓挨拶・講話 経済産業省九州経済産業局 地域経済部情報政策課デジタル経済室 室長 春口 浩子氏</p> <p>14:30~15:00:講演 「基山町版MaaSへの取り組み」 佐賀県基山町 町長 松田 一也氏</p> <p>15:00~15:50:講演・懇談会 「〇〇産MaaSの創り方~モビリティは勿論、社会・都市・生活も変容~」 熊本学園大学経済学部 教授 溝上 章志氏 参加自治体紹介、来賓紹介、参加企業紹介</p> <p>15:50~16:10:休憩 コーヒーブレイク 情報交流・名刺交換</p> <p>16:10~16:30:九州MaaSマッチング交流会今後の予定について</p>		

主催 一般社団法人 九州経済連合会 一般社団法人 EMoBIA

参加者 74名
7自治体12名

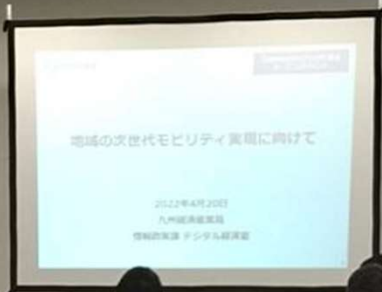


九州MaaSマッチング
交流会
オープニングイベント
参加者総数 74名

8 自治体 12名
1 公益財団 2名

No.	自治体名	所属	役職
1	大牟田市	都市整備部国軒道路・地域交通対策課	
2	大牟田市	都市整備部国軒道路・地域交通対策課	主査
3	筑紫野市	企画政策部 企画政策課	係長
4		企画政策部 企画政策課	主任
5	みやま市	総務部 企画振興課 地方創生係	係長
6	行橋市	都市整備部 都市計画課	課長
7		都市整備部 都市政策課	参事
8	福津市	都市整備部 都市管理課	係長
9	宗像市	都市再生部 都市再生課	課長
10		都市再生部 都市再生課	参事兼地域政策係長
11	基山町	町長	町長
12		定住促進課	課長
13	柳川市	総務部企画課	
14	公益財団法人	北九州市産業学術推進機構	
15	公益財団法人	北九州市産業学術推進機構	

来賓挨拶と講話
九州経済産業局
デジタル経済室 春口浩子室長



講演
基山町版MaaSの取り組み
松田一也 町長



講演・懇談会
産MaaSの作り方
社会・都市・生活も変容
溝上章志 教授



九州MaaSマッチング交流会 オープニングイベント

- EV試乗会
- 講演
- 交流会

Copyright 2022 EMOBIA General Incorporated Association.
All Rights Reserved



九州MaaSマッチング交流会 オープニングイベント開催

EVバス試乗や事例報告

【福岡】九州経済連合会とEMoBIAは、モビリティサービスを通じた移動課題の解決と地域活性化を目指す「九州MaaSマッチング交流会」を立ち上げる。これに先立ち4月20日、福岡システムLSI総合開発センター（福岡市早良区）でオープニングイベントを開き、自治体の関係者ら76人が参加した。

イベントでは、EV Motors Japan（北九州市若松区）が手掛けるEV（電気自動車）マイクロバスの試乗会が行われ、シーサイドももち地区を走行。参加者は、低消費電力システムで長距離走行を実現するマイクロバスの走行性能を体感した。

その後の講演会に登壇した佐賀県基山町の松田一也町長は、経産省の「スマートモビリティチャレンジ」

の一環として行った実証実験について報告。シャトルバスとオンデマンド交通の活用を検証した同町の事例を紹介した。

熊本学園大学の薄上章志教授は、熊本県での事例を発表。「日本におけるMaaSはアプリの開発が先行したり、思い込みがメインになったりすることも多い。だが、既存のアプリなども活用してデータをオープンにし、地域課題の解決を第一に進めることが求められる」と強調した。

あいさつに立った九経連の升本喜之輔光社会基盤部長は「地域課題の解決に向けて公共交通機関の活用について考えることは、今後目指すべきグリーン社会にとっても重要」と、MaaSのビジネスマッチングの意義を述べた。

EMoBIAの浦正勝代表理事は、「事業者同士の交流が重要だと思っている。こうしたアクションを、MaaS推進の先行事例として全国に発信していければ」とコメント。「地域公共交通だけでなく、地域の活力の維持やまちづくりのツールとして役立てられる」と期待を示した。

フルボックス（デジタール兵箱）」と表現。「これかEVは馬力を評価するのではなく、処理能力の勝負になど語った。

速96km/hに到達するまでの時間が6・7秒の標準タイプ4・3秒のプレミアムタイプの2車種を販売する。前者は5000円から、後者は9000円から。米国では5000円の連邦税額控除用を受けられる。

ニューヨーク国際自動車ショー受け付けたインディワンの第1号は、環境保護団体グハルグリーンズのウイリアムリッジCEOだった。同団メンバーにはレオナルド・カプリオさんやロバート・ドフォードさんといった俳優ほか、オノ・ヨーコさんもという。

インディEVは、今後の予約一部を、5年以上にわたって環境保護に尽力してきたグリーンに寄付するとしてる。



あいさつする浦代表理事

EVマイクロバスの試乗会も行われた。地域の活力の維持やまちづくりのツールとして役立てられる」と期待を示した。

第一回の交流会は、今年23日に電気ビル共創館（福岡市中央区）で開催予定。基調講演や地域交通に関する相談会ブースを設ける。

第1回九州MaaSマッチング交流会

参加
無料

主催：一般社団法人九州経済連合会・一般社団法人EMoBIA
後援：九州経済産業局・九州地方整備局・九州運輸局・九州総合通信局

協賛団体：株式会社MaaS Tech Japan

目的
九州域内の各地において、新たなモビリティサービスやMaaSを通じた移動課題の解決や地域活性化を図るため、(一社)九州経済連合会と(一社)EMoBIAは、先進的な取り組みの情報発信や官民交流の促進を目的とした『九州MaaSマッチング交流会』を開催いたします。

日時 2022年5月23日(月) 13:30~17:15 [受付開始 13:00~]
※コロナウイルス感染拡大防止策を徹底のうえ開催致します。

会場 電気ビル カンパレンスA
福岡市中央区渡辺通2-1-82(電気ビル共創館3階)

プログラム

13:30 開会挨拶
(一社)九州経済連合会 常務理事・事務局長 平井 彰
(一社)EMoBIA 代表理事 浦 正勝

13:35 基調講演
①『交通からいい街、いい暮らしづくりのポテンシャル』
講師：一般社団法人JCoMaaS
理事 神田 佑亮 氏
②『モビリティを通じて地域を元気に！』
講師：トヨタ自動車株式会社
CVカンパニー トータルソリューション事業室
トヨタG商業ソリューショングループ グループマネージャー 丹羽 宏成 氏

14:15 出展企業の紹介 ※順不同
ネクスト・モビリティ株式会社
BOLDLY株式会社
株式会社MaaS Tech Japan(一般社団法人JCoMaaSとの共同出展)
菱電商事株式会社

14:45 休憩
14:55 地域交通に関する相談会・交流会
17:15 閉会

お問い合わせ：(一社)九州経済連合会 観光社会基盤部 上田・後藤
TEL:092-791-4278

講師ご紹介



一般社団法人JCoMaaS
理事
(高工学専攻)専門学校 津浦都市工学分科 教授

【演題】 神田 佑亮 氏
交通からいい街、いい暮らしづくりのポテンシャル

【講演内容】
交通モードやデジタルツールの進化、目的地と交通の連携が進み、外出しやすい社会が築いていきます。一方で、マネタイズ同等の課題にも直面します。地域交通・MaaSに取り組みの動機は何か？ 展望を実践経験から語ります。

【プロフィール】
1977年広島県生まれ。交通システム工学を専門、朝オリエントコンサルタンツ、京都大学大学院工学研究科助教を経て現職。国土交通省「アフターコロナに向けた地域交通の再デザイン」有識者検討会委員等。



トヨタ自動車株式会社
CVカンパニー トータルソリューション事業室
トヨタG商業ソリューショングループ
グループマネージャー

【演題】 丹羽 宏成 氏
モビリティを通じて地域を元気に！

【講演内容】
地域公共交通の維持が難しくなる中、トヨタの拠出と共に「使いやすいクルマ」や「高齢者や障害者などの仕組み」で高齢者の移動活性化に取り組んできた事例をご紹介します。

【プロフィール】
トヨタ自動車2002年入社。トヨタの製造現場で培った「現地現物」をモットーに、2020年よりトータルソリューション事業室にて世の中の物流、人流の滞りごと解決を推進。

企業ご紹介(順不同)

出展企業(企業ブース)

■ ネクスト・モビリティ株式会社
<企業HP> <https://www.next-mobility.co.jp>

【企業情報】
AIとデータ駆動型MaaSのサービスを提供する、ソリューション提供事業を展開しています。システムの提供は勿論、お客様における事業計画や設備・稼働後のアドバイザリーまで一貫したサポートをしています。「100%の運行保証」は、福岡県市県民・市区や県民を主とした、真野県民市等、日本全国に及びます。

■ BOLDLY株式会社
<企業HP> <https://www.softbank.jp/drive/>

【企業情報】
自動運転バスを中心とした、スマートモビリティの導入を円滑に進められる多様なサービスを提供しており、自動運転バスの導入・運用に関する調査・コンサルティング事業の企画、業務開発や制度取組の立案等に取り組んでいます。地域密着型にて、自治体から企業まで幅広い自動車・バス(NAVYA ARMA)の公道運行を同時・定額制で実施しています。

■ 株式会社MaaS Tech Japan
(一般社団法人JCoMaaS)
<企業HP> <https://www.maas.co.jp>

【企業情報】
交通分野のモビリティデータ活用による、交通ミックスの推進を目的に、「MaaSデータ統合基盤(TaaSARE)」、「MaaSコントロール」などのプログラムの開発とモビリティサービスMaaSのプラットフォーム構築をしております。様々な自治体・エリアで、これらプログラムの開発を通じた移動課題の解決に取り組んでいます。

■ 菱電商事株式会社
<企業HP> <https://www.ryoden.co.jp>

【企業情報】
菱電商事グループは、FAシステム・冷熱システム・ビルシステム・エレクトロニクスなどの基礎事業に加え、スマートファクトリーとヘルスケアを新分野での事業として展開しています。さらに、本業のモビリティ分野に向けてMaaSやASASといった最先端分野に自動運転シミュレーション技術を開発しています。

総合インフォメーション(会場内相談窓口)
■ 一般社団法人EMoBIA
■ 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課・製造産業課
14:55からの「地域に交通に関する相談会・交流会」では、企業ブースとは別途、会場内に総合インフォメーションを設けます。こちらでは、MaaSやモビリティ企業に関する情報や国の動向等を発信します。

申込方法 申込票を明記のうえ、5月9日(月)までに下記のメールアドレス宛へご返信ください。
E-mail: hi.ueda@kyukeiren.or.jp (一社)九州経済連合会 観光社会基盤部 上田宛
<申込票> ※メール本文でお申込みいただいても構いません。

貴自治体名	
貴部署・課	
(ご参加される方の) 御役職・御氏名	
(ご参加される方の) 御役職・御氏名	
御連絡先(TEL)	-

※複数名様のご参加も可能です。3名様以上でご参加される場合は、恐れ入りますがメール本文にて御氏名等をご連絡ください。
※お申し込みいただいた個人情報は、本イベント以外の目的では使用しません。

第1回MaaSマッチング 交流会参加者総数 75名

8 自治体 17名
1 福岡県 1名

No.	自治体名	所属	役職
1	嘉麻市	地域活性推進課	主任
2	香春町	まちづくり課 企画調整係	係長
3		まちづくり課 企画調整係	主任主事
4	筑紫野市	企画政策部 企画政策課	係長
5		企画政策部 企画政策課	主任
6	みやま市	総務部 企画振興課 地方創生係	係長
7	行橋市	都市整備部 都市計画課	課長
8		都市整備部 都市政策課	参事
9	福津市	都市整備部 都市管理課	係長
10	宗像市	都市再生部 都市再生課	課長
11		都市再生部 都市再生課	参事兼地域政策係長
12	福岡県	地域振興部 交通政策課	主任主事
13	基山町	定住促進課	課長
14		定住促進課	主幹 地域公共交通係長
15	鹿島市	総務部 企画財政課	主任
16	鹿島市		市議会議員
17	鹿島市		
18	鹿島市		

コマ	時刻	A市	B市	C市	D市	E市	F市	G市	H市
①	15:00~15:15	ネクスト・モビリティ	BOLDLY	MaaS Tech Japan	菱電商事	フリー	フリー	フリー	フリー
②	15:15~15:30	フリー	フリー	フリー	フリー	ネクスト・モビリティ	BOLDLY	MaaS Tech Japan	菱電商事
③	15:30~15:45	菱電商事	ネクスト・モビリティ	BOLDLY	MaaS Tech Japan	フリー	フリー	フリー	フリー
④	15:45~16:00	フリー	フリー	フリー	フリー	菱電商事	ネクスト・モビリティ	BOLDLY	MaaS Tech Japan
休憩10分 (16:00~16:10)									
⑤	16:10~16:25	MaaS Tech Japan	菱電商事	ネクスト・モビリティ	BOLDLY	フリー	フリー	フリー	フリー
⑥	16:25~16:40	フリー	フリー	フリー	フリー	MaaS Tech Japan	菱電商事	ネクスト・モビリティ	BOLDLY
⑦	16:40~16:55	BOLDLY	MaaS Tech Japan	菱電商事	ネクスト・モビリティ	フリー	フリー	フリー	フリー
⑧	16:55~17:10	フリー	フリー	フリー	フリー	BOLDLY	MaaS Tech Japan	菱電商事	ネクスト・モビリティ

erved





第1回九州MaaSマッチング交流会
主催：(一社)九州経済連合会・(一社)EMOBIA
後援：九州経済連合会・九州地方整備局・九州運輸局・九州社会連合会
2022年5月23日

第1回九州MaaSマッチング交流会
主催：(一社)九州経済連合会・(一社)EMOBIA
後援：九州経済連合会・九州地方整備局・九州運輸局・九州社会連合会
2022年5月23日

第1回九州MaaSマッチング交流会

- ・ 講演
- ・ マッチング交流会
- ・ 九州MaaSマッチング交流会の継続的な取組みを求められている。
- ・ 4省の後援を得ることができた

2022年度 第1回 九州MaaSマッチング交流会

主催：一般社団法人九州経済連合会・一般社団法人EMoBIA

2022年5月23日電気ビル コンフェレンスA

挨拶：九経連 常務理事 平井彰 ・ EMOBIA 代表理事 浦 正勝

後援：
九州経済産業局
九州地方整備局
九州運輸局
九州総合通信局

開会
後援



講演



「交通からいい街、いい暮らしづくりのポテンシャル」
一般社団法人JCoMaaS
←理事 神田祐亮
呉工業高等専門学校 教授



講演会参加者状況

「モビリティを通じて地域を元気に！」
トヨタ自動車株式会社
CVカンパニー
GM 丹羽宏成→



↑
「マッチング交流4社プレゼン」



マッチング交流会

MaaSコーディネータ
株式会社MaaS Tech Japan

AI活用型オンデマンドバス
ネクストモビリティ株式会社
(奥)

自動運転シミュレーション
菱電商事株式会社

自動運転・遠隔制御
BOLDLY株式会社



5. 対策検討・取組み課題

EMoBIA 研究開発・取組みテーマ概要

専門機関で中立的な立ち位置
持続的な活動

課題
情報・データの体系化

次世代モビリティ
サプライチェーン
の構築

費用の負担
(シェア)

関連する勉強会・
セミナー開催

有料
勉強会・セミナー

・一般社団法人EMoBIAによる継続的なサービスとしての九州MaaSマッチング交流会のしくみ構築・持続的な情報提供・連携を求められている。

・情報収集・シェアのニーズが非常に強い。自治体の取組状況に大きな差がある
・各地域の事例情報、データ、MaaS関連企業のサービス・商品等の情報・データの収集・分析・体系化取組みが不可欠で、効率的なMaaS情報・データ等のシェアができる仕組み作りを求められている。

・MaaSの次世代モビリティサプライチェーンを構築し、情報、データの分析、体系化を進める
・自治体・企業が効率的な情報シェア、活用展開を加速できるしくみを構築する
将来的には、DX次世代モビリティサプライチェーンの構築を検討する
・システム構築・運営資金の課題

・情報・データの分析・体系化・活用のしくみ構築と運営には費用がかかるため、MaaS関連企業の商品・サービス内容の登録は有料を検討
・EMoBIA会員企業の正会員は無料、賛助会員は半額以下とすることを検討していく。

・並行して、会員企業・自治体を対象とする次世代モビリティの勉強会・セミナーを定期的で開催
・特に、EV・自動運転の動向等最新情報をシェアできる勉強会を進めていく。(会員企業)
・同勉強会は自主的な活動メンバーで構成していくことを検討する。
情報シェアできる段階で上記勉強会・セミナーへの展開を図る。会員へのCASE・MaaS 国内外最新動向情報月報をHP等でシェア

・2022年度より、勉強会・セミナーは基本有料(非会員)、
正会員・賛助会員は無料、自治体・官公庁・大学等 特別会員は無料とする。(案)

九州MaaSマッチング交流会・勉強会開催

4~5月

九州経済産業局公募への提案・受託・FS事業取組

6~7月以降



令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業【提案書】
 (データに基づく最適なモビリティサービスの社会実装に向けた事前調査等事業)

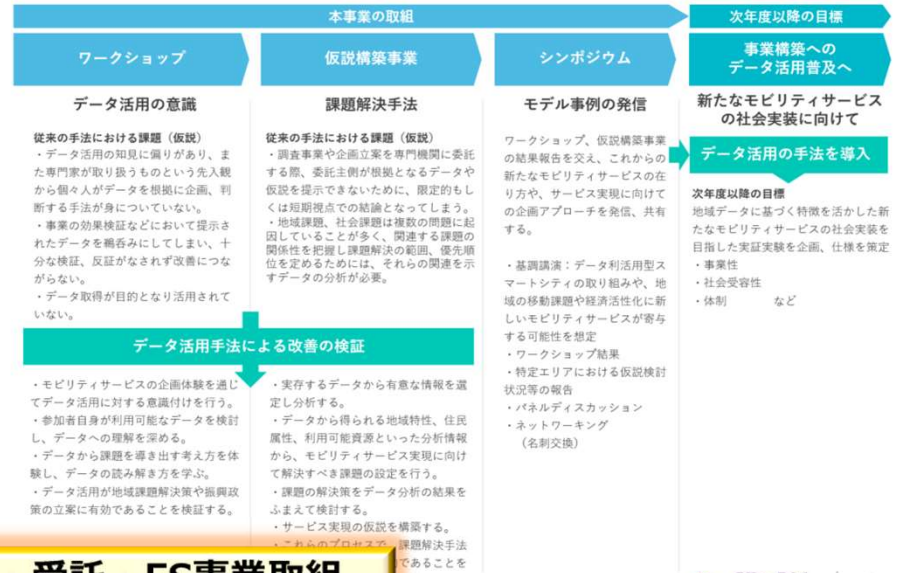
九州経済産業局公募への提案・受託・FS事業取組



目次

01. 目的への理解	2
02. 基本方針 - 本事業取組の方針	3
03. 事業内容: ワークショップの開催	6
04. 事業内容: 仮説構築事業について	10
05. 事業内容: 地域シンポジウム	13
06. 実施計画	15
07. 実施体制: 実施体制図	16
08. 実施体制: EMoBIAについて	18
09. 実施体制: グループノーツ社について	24
10. 添付資料	29

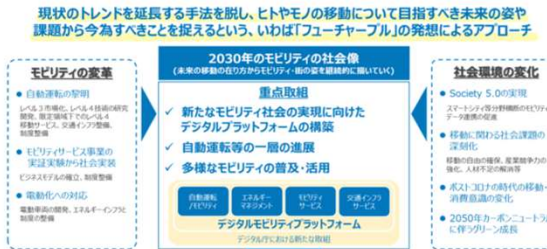
02. 基本方針：本事業取組の方針



02. 基本方針：事業の背景

政府は「官民ITS構想・ロードマップ」を定め、各省庁および民間事業の官民一体となってITS (Intelligent Transport Systems/高度道路交通システム) および自動運転の実現戦略を立案し、推進しています。EMoBIAはITSを活用した事業開発/普及推進をミッションとして活動しており、道路交通の高度化によって実現されるサービス (MaaS、自動運転など) の社会実装を目指しています。本事業を通じて民間企業による公共交通の維持が困難となりつつある地方、地域における新たな交通サービスの在り方を提示したいと考えております。

ITS構想2030年の実現目標



EMoBIAのミッション



地域公共交通を始めとするモビリティサービスを対象に、最先端ITSを活用した研究及び事業開発等と普及促進を図ることで、地域社会における安全安心、快適性、利便性の提供、更にはグローバルな住み良い

03. ワークショップ：概要

開催予定日	2022年11月16日(月曜日) 13時30分～18時00分	会場	福岡合同庁舎本館 大会議室(兼) (福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号)
運営	一般社団法人EMoBIA MaaSサービス推進部 株式会社グルーヴノーツ		
目的	テーマに捉われすぎない柔軟な思考を生み出し、課題に対して本質的なアプローチを行うことができるようデータ活用の基礎を具体的なアウトプットをイメージして取り組む。具体的なアクションにつなげることができるよう自社や自組織が保有するデータリソースを把握する。		

最大40名程の規模感で、データ活用のための基礎講座と、活用アイデアを生み出すワークショップを実施し、企画をブラッシュアップする講評まで取り組みます。これら一連の流れを通して、データ活用を実体験し課題解決の知見を得ます。



開催概要

- 日時 令和5年11月16日(月曜日) 13時30分～18時00分
- 開催場所 株式会社グルーヴノーツ本社ビル(福岡市中央区今泉1-19-22 天神 CLASS 3 階)
- 事業委託先 一般社団法人 EMoBIA、ワークショップ運営(株)グルーヴノーツ
- 参加者数 参加者数 32名

プログラム・開催風景

- 「データを活用する」ことの意義、前提知識や考え方を学んだ後、グループごとに課題に対する解決策の仮説を検討し、データを取り入れながら課題解決の企画、検討を行いました。

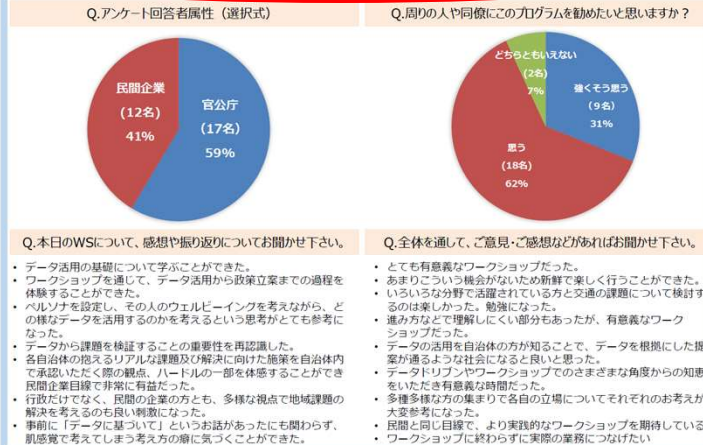
<ワークショップ>

- 基礎講習「データ活用、データドリブンな考え方について」



- グループに分かれ、カード(課題、データ等の要素)を使った検討

データ活用ワークショップ～データから考える地域の課題解決～参加者アンケート (一部抜粋)



参加者32名 自治体17人、企業12人、他3名

04. 仮説構築事業：実施手法

宗像市が保有するデータから、オンデマンドバスサービスにおける課題の解決方法として、自動運転の導入を具体的に検討しています。自動運転実現の可能性を模索していることから、仮設工地区事業の対象として宗像市を選定しました。宗像市が保有するデータ、現時点で把握している問題、課題をワークショップで用いた手法によって整理し、自動運転実現に向けた課題と解決方法、解決方法の実行可能性を検証し、自動運転バスサービス実現の方法について仮説を構築します。



宗像市データ分析

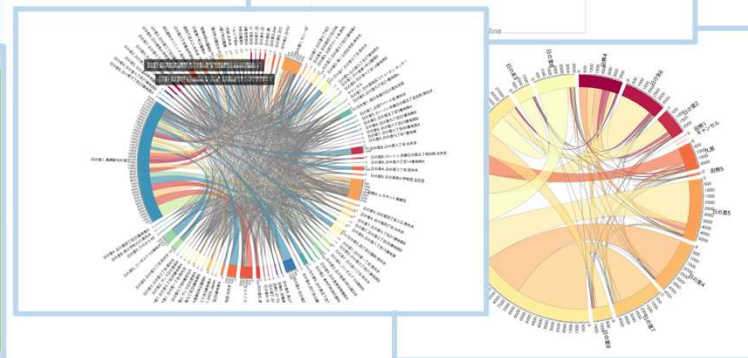
利用者数、予約数、キャンセル数などの傾向

九州大学
峯 恒憲

データ概要

- 2021年3月-2022年11月のオンデマンドバス利用データ
 - 1ヶ月ごとの利用回数は増加傾向
 - 2021年3月:レコード数1007, 2022年11月:レコード数4027
- 特徴
 - 乗車/降車希望場所を取得することができる
 - 路線バスデータでは拾えない具体的な需要把握
 - スマホアプリによる追跡
 - 解像度の高い乗客理解 (※ユーザ属性は無理)

登録者数とリピータ数の推移



スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウムin九州

受託事業成果報告・今後策検討

20230220



開催ご挨拶
九州経済産業局
染谷昌宏 地域経済部長



基調講演 I
経済産業省における自動走行に関する取組
井澤 樹 経済産業省 課長代理



基調講演 II
新たなモビリティ 次世代モビリティの可能性
楠田悦子 モビリティジャーナリスト



スマートモビリティチャレンジ地域シン
ポジウム in九州 全景



パネルディスカッション
ファシリテーター 溝上章志教授
パネラー
佐々木久美子 グルーヴノーツ 会長
楠田悦子 モビリティジャーナリスト
許斐知加 宗像市都市再生課 係長

九州経済産業局
課長 松本孝之
MC 春口浩子
デジタル経済室室長



地域モビリティサービスの仮説構築におけるデータ活用
峯恒憲 九州大学准教授・許斐知加 宗像市都市再生課 係長



データ活用ワークショップ実施報告
赤星良輔 グルーヴノーツ ディレクター

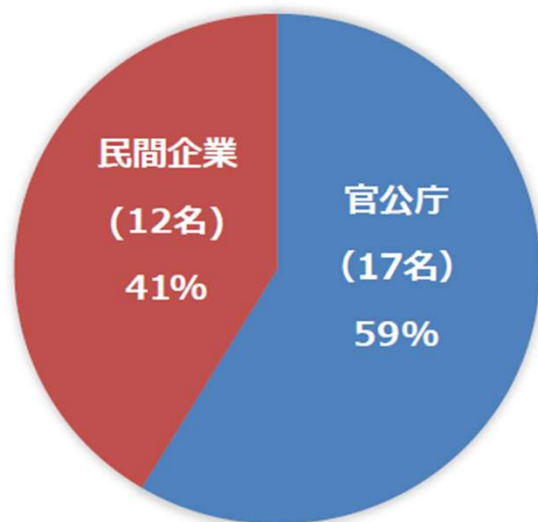
Copyright 2022 EMOBIA General Incorporated Association. All Rights Reserved



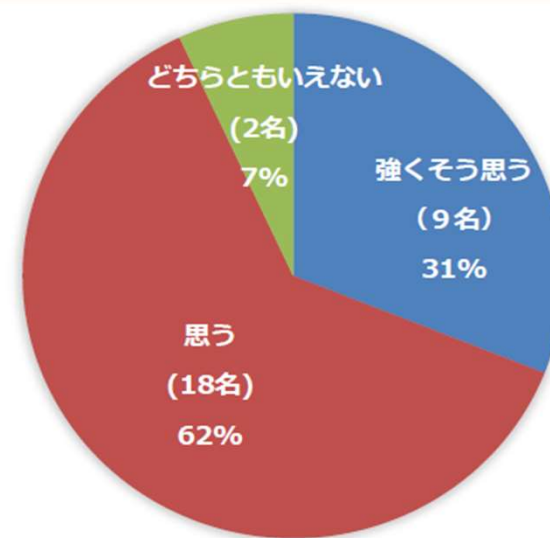
データ活用ワークショップ～データから考える地域の課題解決～参加者アンケート（一部抜粋）

2023年1月16日実施

Q.アンケート回答者属性（選択式）



Q.周りの人や同僚にこのプログラムを勧めたいと思いますか？



Q.本日のWSについて、感想や振り返りについてお聞かせ下さい。

- データ活用の基礎について学ぶことができた。
- ワークショップを通じて、データ活用から政策立案までの過程を体験することができた。
- ペルソナを設定し、その人のウェルビーイングを考えながら、どのようなデータを活用するのかを考えるという思考がとても参考になった。
- データから課題を検



Q.全体を通して、ご意見・ご感想などがあればお聞かせ下さい。

- とても有意義なワークショップだった。
- あまりこういう機会がないため新鮮で楽しく行うことができた。
- いろいろな分野で活躍されている方と交通の課題について検討するのは楽しかった。勉強になった。
- 進み方などで理解しにくい部分もあったが、有意義なワークショップだった。
- データの活用を自



た提



「12/09 EMoBIA会員・自治体・関係団体様向け講演／交流会」

2022年12月9日（火） 15:30-18:30

15:30～ ご挨拶 一般社団法人EMoBIA 代表理事 浦 正勝 / 一般財団法人 日本みち研究所 専務理事 森山 誠二 様

15:45～ 演題1 : 「ITS WC 2022 ロサンゼルス大会の動向」

新型コロナウイルス発生にて大会延期となったロサンゼルス大会が、ハンブルグ大会を挟み
実質Withコロナ時代の大勢の参加者を招いたリアル開催となりました。
最新の I T S 社会の動向などを短くレポート致します。

講師 : 株式会社PTVグループジャパン 代表取締役 端野 良彦 様

16:00～ 演題2 : 「世界のCASE・MaaSの最新動向」

世界的にバッテリーEVの市場拡大が進んでいます。それは単なるEVではなく自動運転機能や
エネルギー管理機能を搭載したSmart EVともいうべきクルマに進化しており、
高度な半導体とソフトウェア・ネットワークが必須になっています。
そうした状況の世界の最新動向についてお話させていただきます。

講師 : 名古屋大学 未来社会創造機構客員准教授 野辺 継男 様

16:55～ 休憩

17:10～ 交流会

MCPC主催 DX推進セミナー in 九州で浦代表理事講演

20230217

講演：九州のモビリティサービス

ITS技術を活用した地域公共交通を始めとする様々な次世代モビリティサービスの事例を踏まえ、そこで得られた様々なデータの活用についてご紹介

10G/5Gで開拓する
MCPC

(5G, AI, IoT)
DX推進セミナー in 九州

参加
無料

社会環境の変化、ビジネスの多様化により競争環境が大きく変化しています。人々のライフスタイル、顧客の消費行動、価値観の変化を踏まえて、新たな顧客価値を創造するために、データとデジタル技術を活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)を加速しなければなりません。目指すべきゴール、参考となるベストプラクティスは何か? DXを実現させ、競争優位を獲得している先進企業のアナリティクスから得られたベストプラクティクス、他をご紹介します。

開催日 2023年 2月17日 金 **会場** 福岡SRPセンタービル 2階ももち浜SRPホール

時間 【セミナー】13:30~17:15
【展示会(併設)】12:30~13:30/17:15~18:00 **住所** 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-1-22

講師の所属	NTTコミュニケーションズ株式会社	KDDI株式会社	5G, LPWA, AI, IoTを活用したDX取り組みの紹介	ソフトバンク株式会社
ドコモビジネスの目指すDX、モバイル&IoT事例のご紹介	KDDIのDX- IoT取り組み	5G, LPWA, AI, IoTを活用したDX取り組みの紹介	ソフトバンクのDX取り組み	九州のDX推進事例
NTTコム/NTTコミュニケーションズ株式会社	KDDI株式会社	5G, LPWA, AI, IoTを活用したDX取り組みの紹介	ソフトバンク株式会社	九州のDX推進事例

お申込みは専用サイトから
<https://www.mcpc.jp/seminar/20230217>

(5G, AI, IoT)
DX推進セミナー in 九州

ご挨拶 九州のDX推進(5G, AI, IoT)のためにMCPC会員の九州地区の方々と共に、総務省九州総合通信局および九州地区各団体の後援を得て、この度最新DX関連(主に事例など)の情報を中心としたセミナーを開催し、DX推進と人材育成に貢献します。九州はシリコンアイランドとして産業のコメである半導体の最先端技術開発、製造を担い、研究開発、工場建設も進行中であり、これに伴い技術者育成が開始されています。また、九州大学では「誰でも使用できるオープンなIoTシステム」として、内閣府戦略的イノベーションプログラム(SIP)の成果である「My-IoTプラットフォーム」の開発が進められ、実証実験が始まっている他、MaaS推進組織も設立され、スマートシティへのチャレンジが進められています。

MCPC会長
安田 靖彦
東京大学名誉教授
早稲田大学名誉教授

タイムスケジュール

13:30-13:40	ご挨拶 総務省九州総合通信局長 野崎健彦氏
13:40-14:10	ドコモビジネスの目指すDX、モバイル & IoT事例のご紹介 NTTコミュニケーションズ株式会社 九洲支店支店長 野田 直彦
14:10-14:40	KDDIのDX- IoT取り組み KDDI株式会社 九州支店支店長 渡瀬 龍太郎氏
14:40-15:10	5G, LPWA, AI, IoTを活用したDX取り組みの紹介 ソフトバンク株式会社 九州支店支店長 山本 隆太郎氏
15:10-15:25	休憩
15:25-15:35	ネスママ分析プラットフォーム For DX! * 九州電力株式会社 九州支店支店長 山本 隆太郎氏
15:35-15:45	My-IoTの紹介 九州大学 九州支店支店長 山本 隆太郎氏
15:45-16:15	九州のモビリティサービス 九州大学 九州支店支店長 山本 隆太郎氏
16:15-17:00	DXを加速するIoT向けオープンイノベーションプラットフォーム Leafony 九州大学 九州支店支店長 山本 隆太郎氏
17:00-17:15	DX推進人材育成について MCPC 代表理事 堀江 博

展示スペースのご案内 出展コーナーには県産各社様の展示、デモ紹介予定、最新情報も併せてご提供いたします。

NTTコム/NTTコミュニケーションズ 九州支店支店長 野田 直彦氏

KDDI 九州支店支店長 渡瀬 龍太郎氏

ソフトバンク 九州支店支店長 山本 隆太郎氏

九州先端科学技術研究所 九州支店支店長 山本 隆太郎氏

EMoBIA 九州支店支店長 山本 隆太郎氏

九州大学 九州支店支店長 山本 隆太郎氏

MCPC 代表理事 堀江 博

アクセス

天神・博多・福岡空港からお越しの方

県内外からお越しの方



6. 2022年度事業計画活動実績概要

九州MaaSマッチング交流会・セミナー・勉強会等

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年	2030年	
MaaS マatching交流会 九州経済産業局FS受託事業取組	27日 検討会			20日水 オープニング イベント	第1回 23日 マッチング 交流会	九州経済 産業局 公募 提案書 作成	提案書 検討会	提案書 検討会	九州経済 産業局 公募 受託	契約内 容検討 九経局 Gorove NT、他	受託 契約 締結	WS検討 FS検討 シンポジ ウム検討	16WS ワーク ショップ	20シン ポジウム 開催	3 中間 検査			
EMoBIA 勉強会 セミナー	25日 セミナー			20EVバス 試乗		セミナーEV 急速充電 基等			(九州 経済産 業局勉 強会)			自動運転 セミナー 交流会		基調講演 ①② 成果報告 2 パネル D				
EV勉強会 プロジェクト発 足 東京地区連携 政府産学官 日 本EV元年			勉強会	25日EV 試乗会 勉強会 発足メン バー 構成	勉強会		プロ ジェク ト発足							DX推進	プロ ジェク ト年度 計画 確定	2025年 中国北京市内 バス15,000台 EV化 2022年中国EV バス10,000台 日本へ	2030年 EV 4,400万台 世界新車の 50%	
自動運転 勉強会 プロジェクト				勉強会 発足 メンバー 構成検討		発足 メンバ ー 決定		メンバ ー 検討会					発足 メンバ ー 検討会	発足 メンバ ー 年度計画 検討	発足 メン バー 年度計 画決定	2025年大阪万 国博覧会にて EV自動運転 バス運行	2030年 自動運転車 4,000万台 世界新車の 4.4%	
国内外 EV 動向	トヨタ 4兆円 世界各社 戦略発表	EV普及率 北欧75% ドイツ35 イギリス 28% 中国12% 日本1%	2021EV 販売万台 中国330 EU 291 テララ95 米 CA13%	2022EV 販売万台 前年比 倍の台数 見込												新車のEV率 50% EU 2025大阪万博 EV/自動運転 L4	EV100% EU 東京・大 阪 NY/CA	
国内外 EV 急速充電基 普及動向	充電イン フラ (1 万人当) ノル ウェー3 5 ドイツ 6 日本3	再生可能 エネル ギー・直 流・直 流 省エネ															政府目標：2030年 150,000〜30,000充電基設置	EV to B・C・Home (V2H) - 太陽光発電とEVによる相乗効果
国内外 自動運転 動向	25 中国EV メーカ との共同	Waymo Mobili 百度														日本25年40カ所 以上レベル4 23〜24年L4 実用化		

特定条件下でレベル4 22年度運用
3月4日閣議決定

政府：2025年全国40カ所以上自動運転

政府目標：2030年 150,000〜30,000充電基設置

EV to B・C・Home (V2H) - 太陽光発電とEVによる相乗効果

